

「ふれあい参観日」を通じてPTAができること

岡谷市立川岸小学校PTA

1. 研究課題

「ふれあい参観日」にPTAができることとして、「考えてみよう自分の未来」をテーマに親子参加を通じて子供が自分の未来を考えるより良いきっかけ作りとなるような内容の充実を図る。

2. この研究課題を取りあげた趣旨

川岸小学校では、2007年からの特徴的な取り組みとして、休日開催の「ふれあい参観日」に「教えてお父さんのお仕事・お母さんのお仕事」と題して保護者が講師となり、自分の仕事内容を紹介する特別授業を開催している。講師が、実際の仕事着を着用して登場したり、アイテムを持参して、児童にわかりやすいように創意工夫を凝らし、手作り授業を行う。この参観日の授業が、児童に対してどのように影響し、「仕事」や「働くこと」を考えるきっかけになっているか、どうすればより良い機会となっていくのか。このことについて、現状を把握し、研究する機会としたい。

3. 計画している研究・実践の内容

- ・副題（テーマ）の選定 「考えてみよう自分の未来」
児童が考えるきっかけになるような副題で分かりやすいものにする。
- ・講師の選出 各学年1名を基準に、計6名の講師を選出
職種が重ならないよう、様々な仕事を紹介できるようにする。
- ・ふれあい参観日の実施
新型コロナウイルス感染対策による人数制限、保護者向けの動画配信等を検討する。
- ・事前・事後アンケートの実施
アンケート集計結果により、今後の計画や方向性、目標を設定する。

4. 研究を推進する組織

- ・岡谷市立川岸小学校PTA
(三役会、父親委員会ほか)
- ・川岸小学校の先生方

5. 現在の研究・実践の推進状況と今後の見通し

- ・第1年次（令和3年度）では、まずは何を研究テーマに選定するのか、どう活動して行っているのかを三役で話し合った。我が校では「ふれあい参観日」が他校に類を見ない特徴的な行事であるので、これをテーマに研究していこうと決め活動をしていきたいとした。
- ・次に、このふれあい参観日について、親としての視点、先生の視点、キャリア教育の観点も踏まえて協議を重ねた結果、副題を設ける、事前・事後アンケートの実施、講師の方へ授業に取り入れてほしい項目作りを検討した。同時に、当日のコロナ対策についてもパターンを準備し、参観日の中止がないようにした。また、録画配信が初めての試みとなるため、現段階では不安

材料が多く難航しそうである。

- ・ 2年次となる令和4年度は、三役メンバーが総入れ替えとなったが、基本的には1年次の決定事項や思いを引き継ぐ形で活動をしている。11月開催予定のふれあい参観日は、この時期に新型コロナウイルスの感染状況がどのようになっているかにより、実施方法等が大きく変わってくる。親子一緒に対面での授業に参加してもらうことが、最も理想ではあるが、人数制限や動画配信等をせざるを得ない事態となることも想定しつつ、学校と協力しながら、ハイブリッドな実施方法を見込んだ準備をしている状況である。
- ・ アンケートの集計結果から見えてくる改善点や充実点で今後の実践計画を考えていきたい。
- ・ 研究発表に向けて、ふれあい参観日実施後に見えてくる反省や課題を整理していきたい。